

# アートポート

取説番号

APR-18-04②

## 《縦2連棟・奥行延長：追加取付説明書》

・ 縦2連棟：P1～4 ・ 奥行延長：P5～8

### ～縦2連棟～

このたびは当社商品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
正しく施工をおこなっていただくため、この説明書に従って組立ててください。

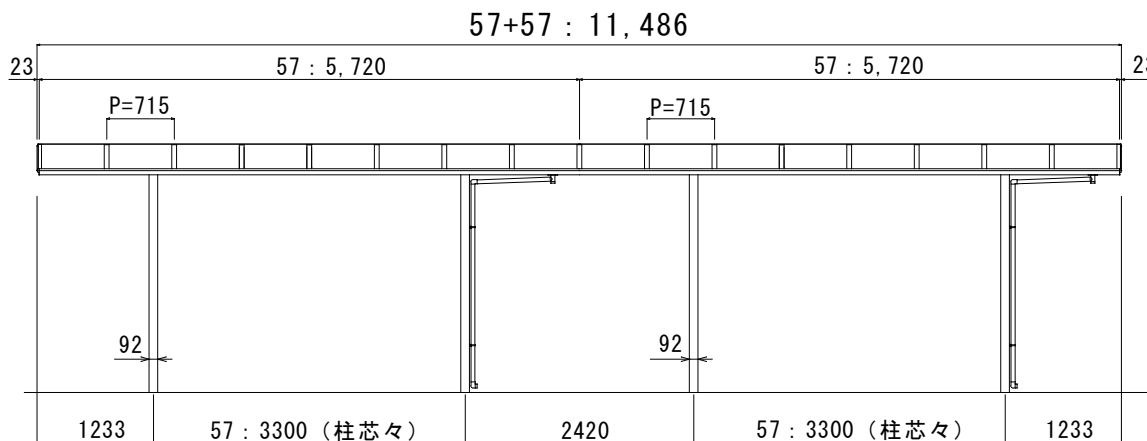
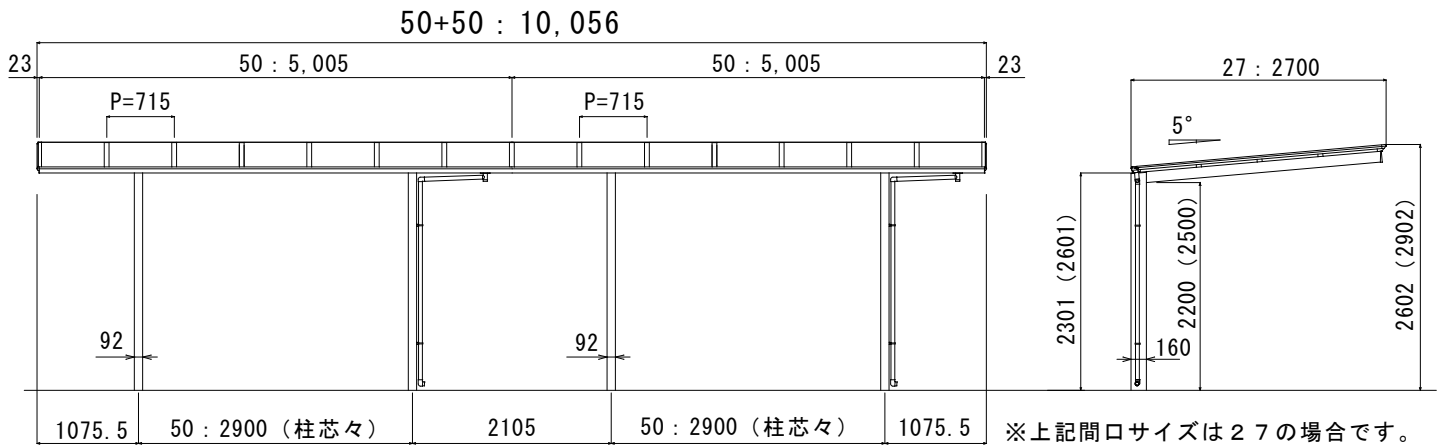
## 商品取扱いについて（取扱い上の注意）

- 3 積雪が20cmを超える前に雪おろしをして下さい。  
製品に破損のおそれがあります。（600N/m<sup>2</sup>としたときの目安です。）
- 3 《危険》屋根の上に乗ったり、物を載せないで下さい。落下の危険があります。
- 3 部品等の交換は販売店あるいは施工店にご相談下さい。  
当社指定品以外の使用は強度を損なうおそれがあります。

## 縦2連棟部材の取付け

### ●製品基本図

※間口21サイズの設定はありません。



箱内容表（縦2連棟関係分）※基本部材の内容は本体の取付説明書を参照ください。

箱名	内容	数量	箱名	内容	数量	箱名	内容	数量
AT-H222N-*	標準柱 L=2862	2	AT-J241-G	24連棟タルキ L=2304	1	AT-R243-CP	屋根本 <sup>®</sup> リカ24(クリアマット)	3
AT-H252N-*	ロング柱 L=3162	2		24屋根材押え中 L=2340	1	AT-R244-CP	屋根本 <sup>®</sup> リカ24(クリアマット)	4
AT-H222G-*	30標準柱 L=2862	2	AT-J271-G	27連棟タルキ L=2605	1	AT-R273-CP	屋根本 <sup>®</sup> リカ27(クリアマット)	3
AT-H252G-*	30ロング柱 L=3162	2		27屋根材押え中 L=2641	1	AT-R274-CP	屋根本 <sup>®</sup> リカ27(クリアマット)	4
AT-B242-*	24梁 L=2206	2	AT-J301-G	30連棟タルキ L=2906	1	AT-R303-CP	屋根本 <sup>®</sup> リカ30(クリアマット)	3
AT-B272-*	27梁 L=2507	2		30屋根材押え中 L=2942	1	AT-R304-CP	屋根本 <sup>®</sup> リカ30(クリアマット)	4
AT-B272G-*	27梁(30・2757)L=2507	2	AT-F500-*	50前枠 L=5003	1	AT-R243-VP	屋根本 <sup>®</sup> リカ24(熱線遮断)	3
AT-B302G-*	30梁 L=2808	2		50後枠 L=5003	1	AT-R244-VP	屋根本 <sup>®</sup> リカ24(熱線遮断)	4
AT-T246-G	24タルキ L=2304	6		φ42丸堅樋 L=2400	1	AT-R273-VP	屋根本 <sup>®</sup> リカ27(熱線遮断)	3
				φ42丸堅樋 L=1000	1	AT-R274-VP	屋根本 <sup>®</sup> リカ27(熱線遮断)	4
AT-T247-G	24タルキ L=2304	7	AT-F570-*	57前枠 L=5718	1	AT-R303-VP	屋根本 <sup>®</sup> リカ30(熱線遮断)	3
				57後枠 L=5718	1	AT-R304-VP	屋根本 <sup>®</sup> リカ30(熱線遮断)	4
AT-T276-G	27タルキ L=2605	6		φ42丸堅樋 L=2400	1			
				φ42丸堅樋 L=1000	1			
AT-T277-G	27タルキ L=2605	7	AT-M503-G	50母屋 L=5003	3			
			AT-M504-G	50母屋 L=5003	4			
AT-T306-G	30タルキ L=2906	6	AT-M573-G	57母屋 L=5718	3			
			AT-M574-G	57母屋 L=5718	4			
AT-T307-G	30タルキ L=2906	7	AT-A310-*	組立部品(24・2750奥行連棟)	1			
			AT-A410-*	組立部品(2457奥行連棟)	1			
AT-K002-N	柱梁ジョイント金具	2	AT-A410G-*	組立部品(2757奥行連棟)	1			
AT-K002G-N	柱梁ジョイント金具30・2757	2	AT-A510G-*	組立部品(3050・57奥行連棟)	1			

※ 箱名末尾\*をラッピング色がブラウンエボニーの場合はBE、ナチュラルパインはNP、ダークパインはDP、ブラックエボニーはKE、柿茶はKB、ホワイトパインはWP、マットブラウンはMBに読み替えてください。  
 組立部品はブロンズはB、ブラックはK、ホワイトはWに読み替えてください。  
 丸堅樋の場合は末尾の□にBE・NPはB、DP・KE・KB・MBはK、WPはWに読み替え、その他はアルミ色スエンカラーGで共通です。

部品内容表

■本体 レギュラー縦2連棟 部品セット

名称	品番	寸法	数量				備考(材質・色)	B ブロンズ	K ブラック	W ホワイト
			AT-A310-*	AT-A410-*	AT-A410G-*	AT-A510G-*				
			24(27) 奥行50用	24 奥行57用	27 奥行57用	間口30 50(57)用				
柱上部キャップ	EP-544		2	2	2	2	ASA	B	K	W
梁キャップ	EP-552(EP-552B)		2	2	(2)	(2)	ASA	B	K	W
前枠連結キャップ	EP-549		1	1	1	1	ASA	B	K	W
モヤ連結キャップ	EP-550		3	3	3	4	ASA	B	K	W
後枠連結キャップ	EP-551		1	1	1	1	ASA	B	K	W
モヤスポンジ(緩衝材)	EP-548	t8×18×48	42	48	48	64	EPTスポンジ	グレー		
アンカー棒	S-12B	φ8×200	2	2	2	2	SWRM	メッキ		
モヤ止めピース	S-949		6	6	6	8	ZAM	G		
前枠連棟プレート	S-950		1	1	1	1	A1100P(B2U)	シルバー		
後枠連棟プレート	S-952		1	1	1	1	A1100P(B2U)	シルバー		
モヤ連棟プレート	S-951		3	3	3	4	A1100P(B2U)	シルバー		
雨樋部品セット			1	1	1	1	別表	B	K	W
六角ボルト(Wセムス)		M8×25	16	16	16	16	SUS(平座・ハネ座組込)	B	K	W
タッピンねじトラス3種	溝付	M5×16	56(2)	56(2)	56(2)	68(2)	SUS	生地		
タッピンねじトラス2種	ゴムW付	M5×12	88(4)	100(4)	100(4)	108(4)	SUS(ゴムワッシャー付)	生地		
ナベテクス		φ4×16	42(2)	47(2)	47(2)	57(3)	SUS	生地		
ナベテクス		φ4×13	42(2)	42(2)	42(2)	50(2)	SUS	生地		
孔フサギシール	VE1130GN	φ18	40	40	40	48	テトロンフィルム	G		
取付説明書	APR-18-04②	縦2連棟用	1	1	1	1				

※ 部品箱名末尾\*をブロンズの場合はB、ブラックはK、ホワイトはWに読み替えてください。

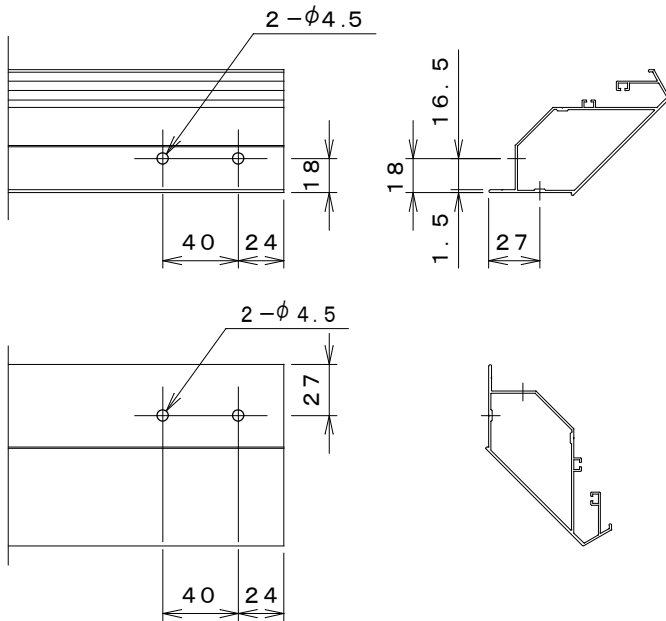
## ■縦 2 連棟部材取付手順

基本タイプと同じ組立作業は本体の取付説明書をご覧ください。

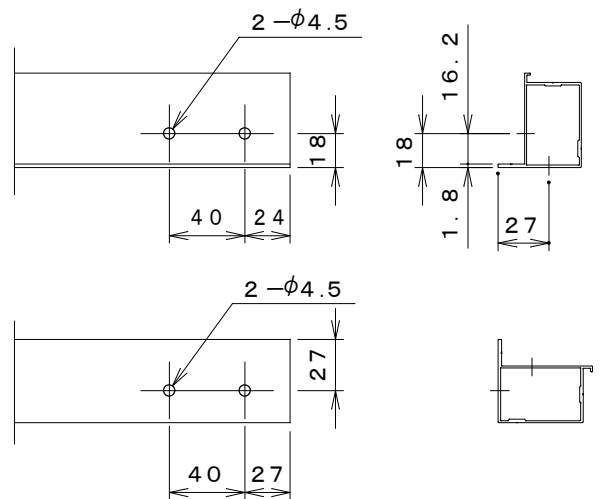
### 1 部材の加工

①ジョイントする側の前枠、母屋、後枠に下図の通りに穴加工をして下さい。

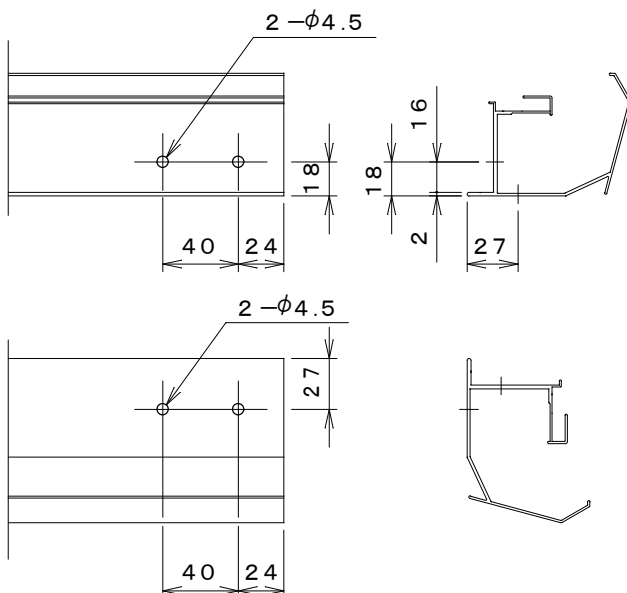
#### ●前枠の加工



#### ●母屋の加工

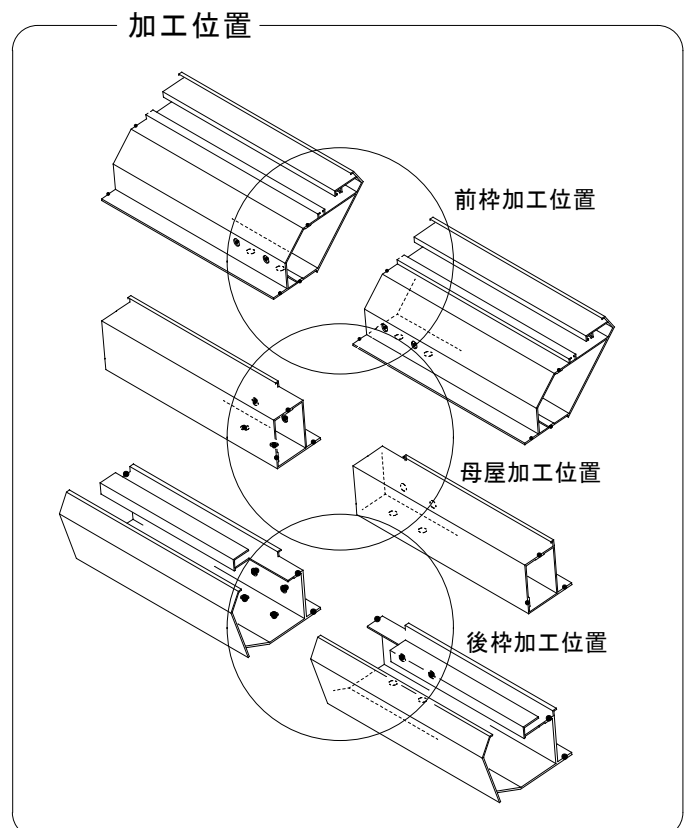


#### ●後枠の加工



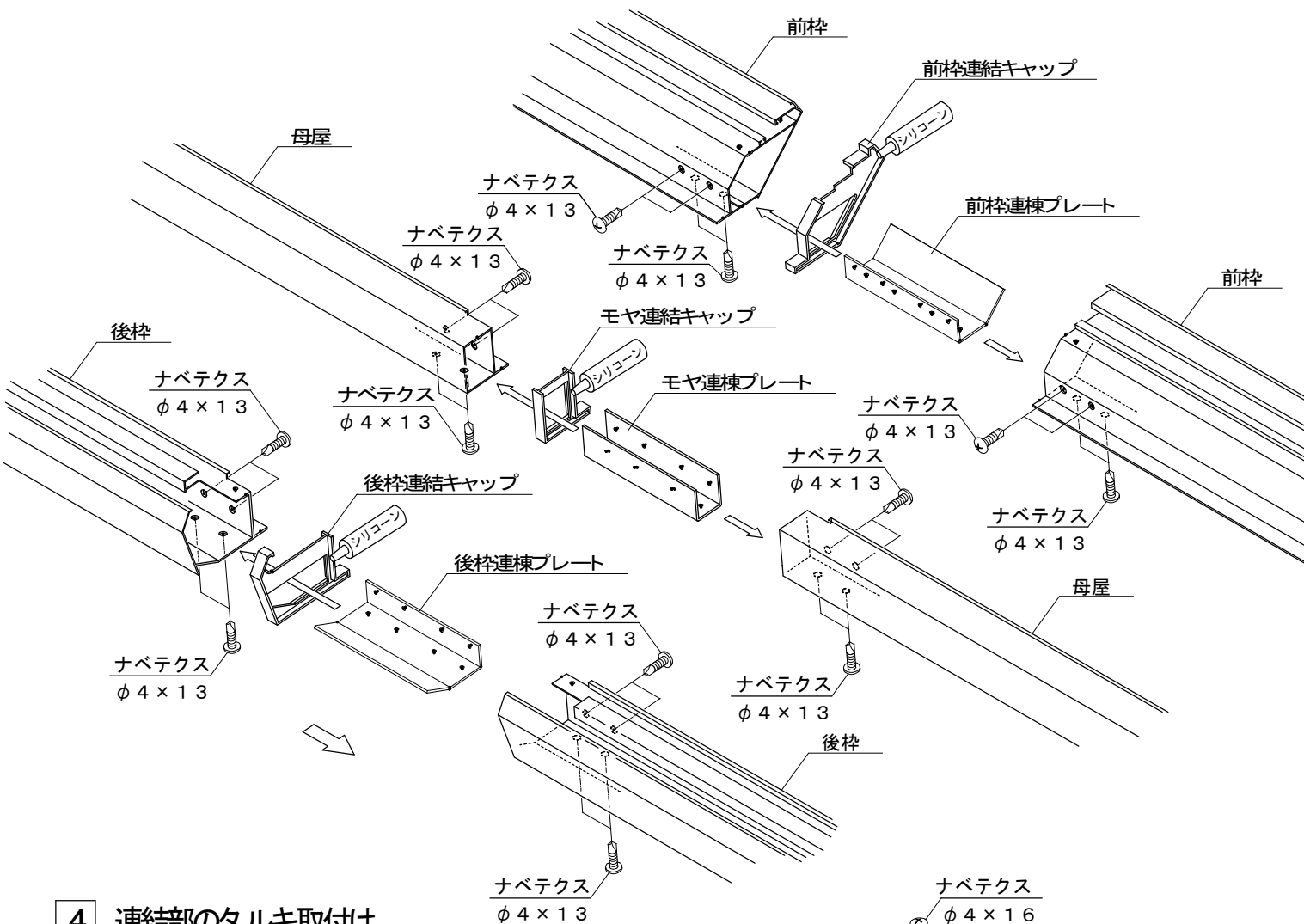
### 2 柱基礎

- ①製品基本図を参照して、柱の埋め込み位置を決めて下さい。
- ②柱の埋め込みは、基本側の取付説明書をご覧ください。



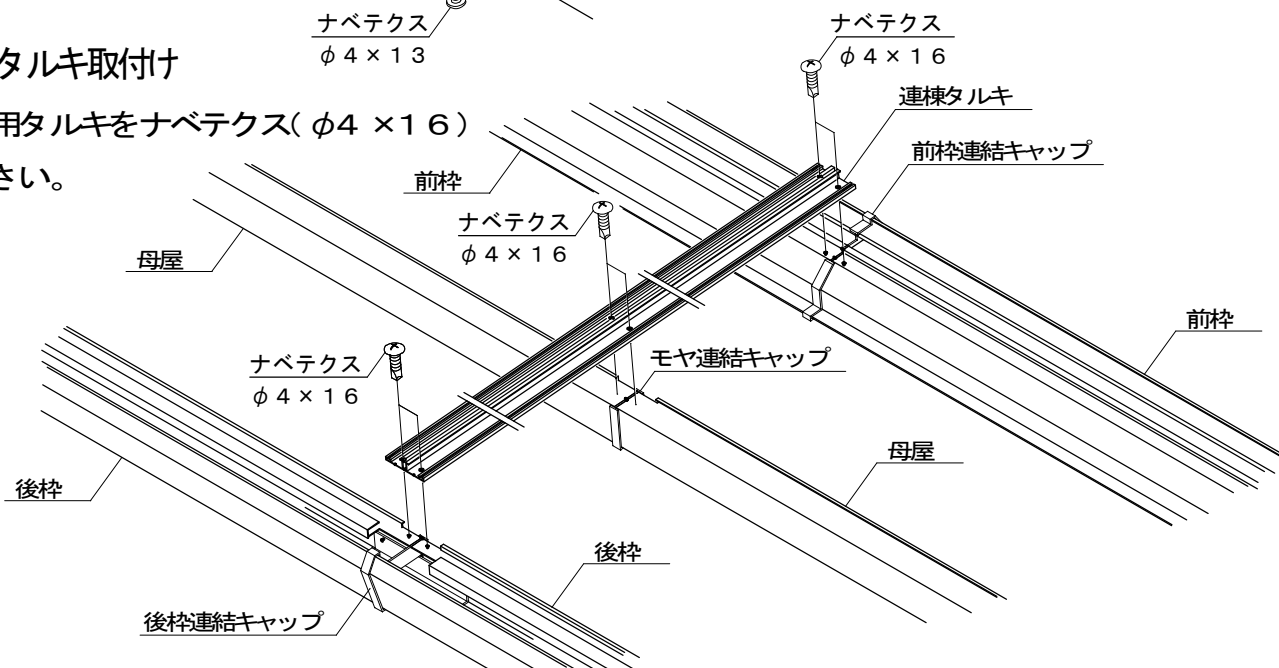
### 3 前枠・母屋・後枠の連結

- ① 本体側の前枠・母屋・後枠に、各連棟プレートをナベテクス(φ4×13)で取付けて下さい。
- ② 各連結キャップにシリコンを塗布し、前枠・母屋・後枠にそれぞれはめ込んで下さい。  
注) 連結キャップを押えながらはめ込み、はみ出したシリコンは拭き取って下さい。
- ③ 本体側にはめ込んだ連結キャップにシリコンを塗布し、連棟側の前枠・母屋・後枠をそれぞれはめ込み、①で取付けた連棟プレートで取付けて下さい。



### 4 連結部のタルキ取付け

連結部に連棟用タルキをナベテクス(φ4×16)で取付けて下さい。



## ～奥行延長～

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しく施工をおこなっていただくため、この説明書に従って組立ててください。

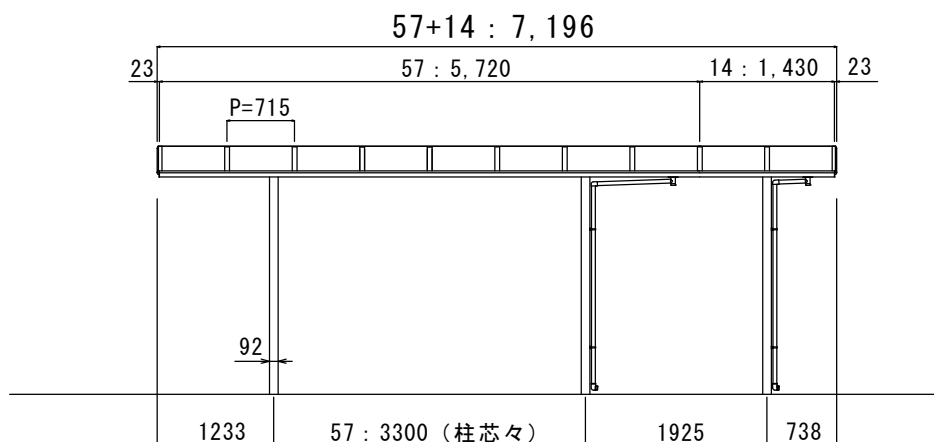
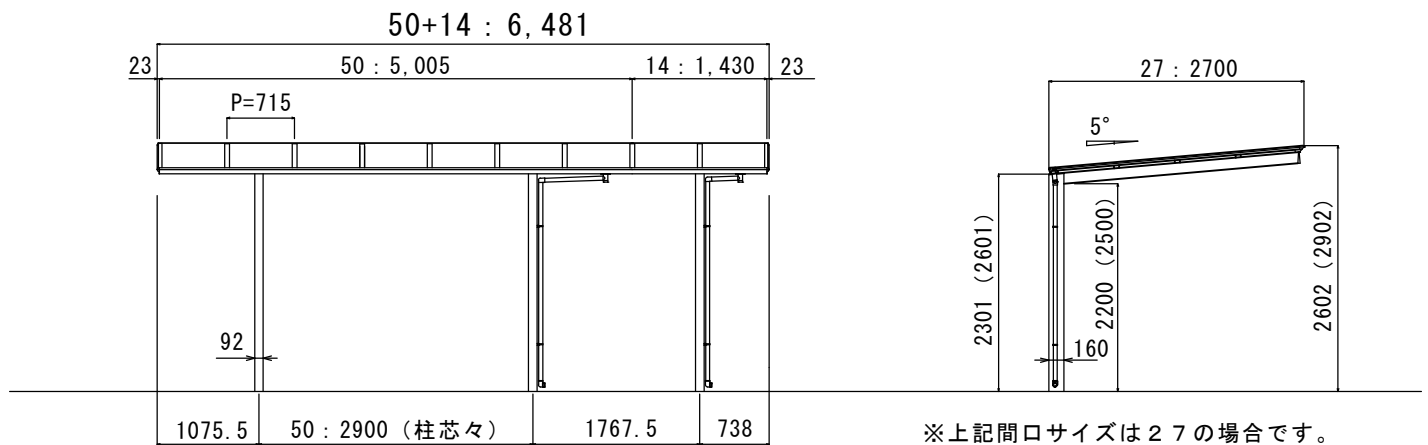
### 商品取扱いについて（取扱い上の注意）

- 1 積雪が20cmを超える前に雪おろしをして下さい。  
製品に破損のおそれがあります。（600N/m<sup>2</sup>としたときの目安です。）
- 2 《危険》屋根の上に乗ったり、物を載せないで下さい。落下の危険があります。
- 3 部品等の交換は販売店あるいは施工店にご相談下さい。  
当社指定品以外の使用は強度を損なうおそれがあります。

### 奥行延長部材の取付け

#### ●製品基本図

※間口21サイズの設置はありません。



箱内容表（奥行延長関係分）※基本部材の内容は本体の取付説明書を参照ください。

箱名	内容	数量	箱名	内容	数量	箱名	内容	数量
AT-H221N-*	標準柱 L=2862	1	AT-F140-*	14前枠 L=1428	1	AT-R243-CP	屋根本 <sup>®</sup> リカ24(クリアマット)	3
AT-H251N-*	ロング柱 L=3162	1		14後枠 L=1428	1	AT-R244-CP	屋根本 <sup>®</sup> リカ24(クリアマット)	4
AT-H221G-*	30標準柱 L=2862	1	AT-M143-G	14母屋 L=1428	3	AT-R273-CP	屋根本 <sup>®</sup> リカ27(クリアマット)	3
AT-H251G-*	30ロング柱 L=3162	1	AT-M144-G	14母屋 L=1428	4	AT-R274-CP	屋根本 <sup>®</sup> リカ27(クリアマット)	4
AT-B241-*	24梁 L=2206	1	AT-P241-□	φ42丸堅樋 L=2400	1	AT-R303-CP	屋根本 <sup>®</sup> リカ30(クリアマット)	3
AT-B271-*	27梁 L=2507	1		φ42丸堅樋 L=1000	1	AT-R304-CP	屋根本 <sup>®</sup> リカ30(クリアマット)	4
AT-B301G-*	30梁 L=2808	1	AT-J302-G	30連棟外 <sup>®</sup> L=2906	1	AT-R243-VP	屋根本 <sup>®</sup> リカ24(熱線遮断)	3
AT-J242-G	24連棟外 <sup>®</sup> L=2304	1		30タルキ L=2906	1	AT-R244-VP	屋根本 <sup>®</sup> リカ24(熱線遮断)	4
	24タルキ L=2304	1		30屋根材押え中 L=2942	2	AT-R273-VP	屋根本 <sup>®</sup> リカ27(熱線遮断)	3
	24屋根材押え中 L=2340	2	AT-K001-N	柱梁ジョイント金具	1	AT-R274-VP	屋根本 <sup>®</sup> リカ27(熱線遮断)	4
AT-J272-G	27連棟外 <sup>®</sup> L=2605	1	AT-K001G-N	柱梁ジョイント金具(3014)	1	AT-R303-VP	屋根本 <sup>®</sup> リカ30(熱線遮断)	3
	27タルキ L=2605	1	AT-A320-*	組立部品(24・2714奥行延長)	1	AT-R304-VP	屋根本 <sup>®</sup> リカ30(熱線遮断)	4
	27屋根材押え中 L=2641	2	AT-A520G-*	組立部品(3014奥行延長)	1			

※ 箱名末尾\*をラッピング色がブラウンエポニーの場合はBE、ナチュラルパインはNP、ダークパインはDP、ブラックエポニーはKE、柿茶はKB、ホワイトパインはWP、マットブラックはMBに読み替えてください。  
 組立部品はブロンズはB、ブラックはK、ホワイトはWに読み替えてください。  
 丸堅樋の場合は末尾の□に、BE・NPはB、DP・KE・KBはK、WPはWを読み加え、その他はアルミ色ステンカラーでGで共通です。

部品内容表

■本体 レギュラー奥行延長 部品セット

名称	品番	寸法	数量		備考(材質・色)	B	K	W
			AT-A320-*	AT-A520G-*		ブロンズ	ブラック	ホワイト
			24(27) 奥行14用	間口30 奥行14用				
柱上部キャップ	EP-544		1	1	ASA	B	K	W
梁キャップ	EP-552(EP-552B)		1	(1)	ASA	B	K	W
前枠連結キャップ	EP-549		1	1	ASA	B	K	W
モヤ連結キャップ	EP-550		3	4	ASA	B	K	W
後枠連結キャップ	EP-551		1	1	ASA	B	K	W
モヤスポンジ(緩衝材)	EP-548	t8×18×48	12	16	EPTスポンジ	グレー		
アンカー棒	S-12B	Φ8×200	1	1	SWRM	メッキ		
モヤ止めピース	S-949		3	4	ZAM	G		
前枠延長プレート	S-953		1	1	A1100P (B2U)	シルバー		
後枠延長プレート	S-955		1	1	A1100P (B2U)	シルバー		
モヤ延長プレート	S-954		3	4	A1100P (B2U)	シルバー		
雨樋部品セット			1	1	別表	B	K	W
六角ボルト(Wセムス)		M8×25	8	8	SUS(平座・ハネ座組込)	B	K	W
タッピンねじトラス3種	溝付	M5×16	28(1)	34(1)	SUS	生地		
タッピンねじトラス2種	ゴムW付	M5×12	25(1)	27(1)	SUS(ゴムワッシャー付)	生地		
ナベテクス		φ4×16	16(1)	19(1)	SUS	生地		
ナベテクス		φ4×13	63(3)	75(3)	SUS	生地		
孔フサギシール	VE1130GN	Φ18	20	24	テロンフィルム	G		
取付説明書	APR-18-01②	奥行延長用	1	1				

※ 部品箱名末尾\*をブロンズの場合はB、ブラックはK、ホワイトはWに読み替えてください。

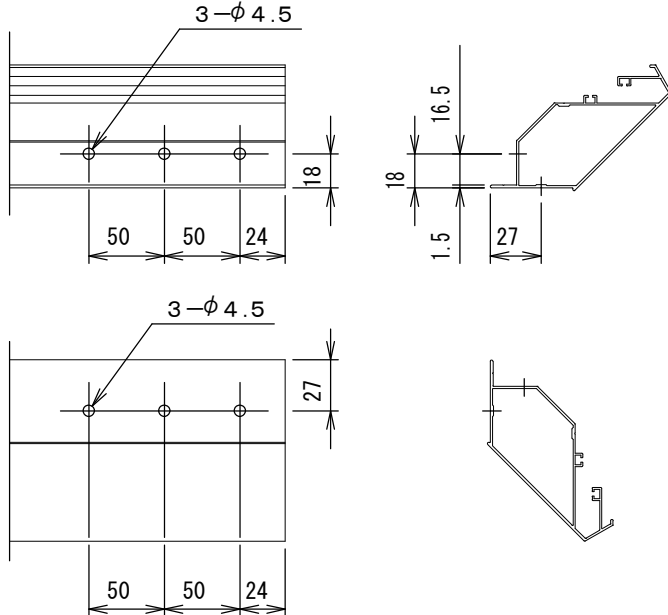
# ■ 縦 2 連棟部材取付手順

基本タイプと同じ組立作業は本体の取付説明書をご覧ください。

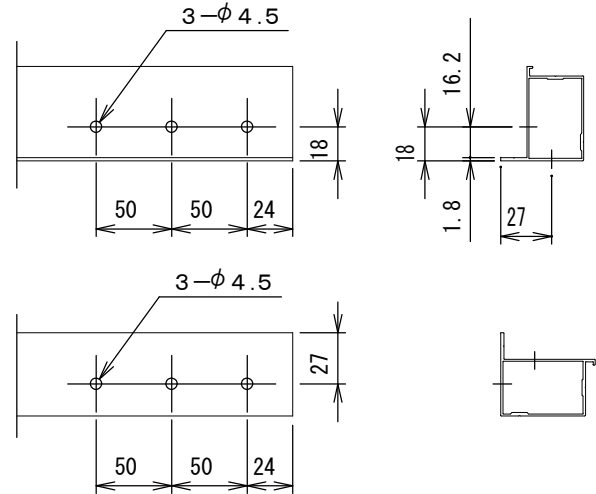
## 1 部材の加工

① ジョイントする側の前枠、母屋、後枠に下図の通りに穴加工をして下さい。

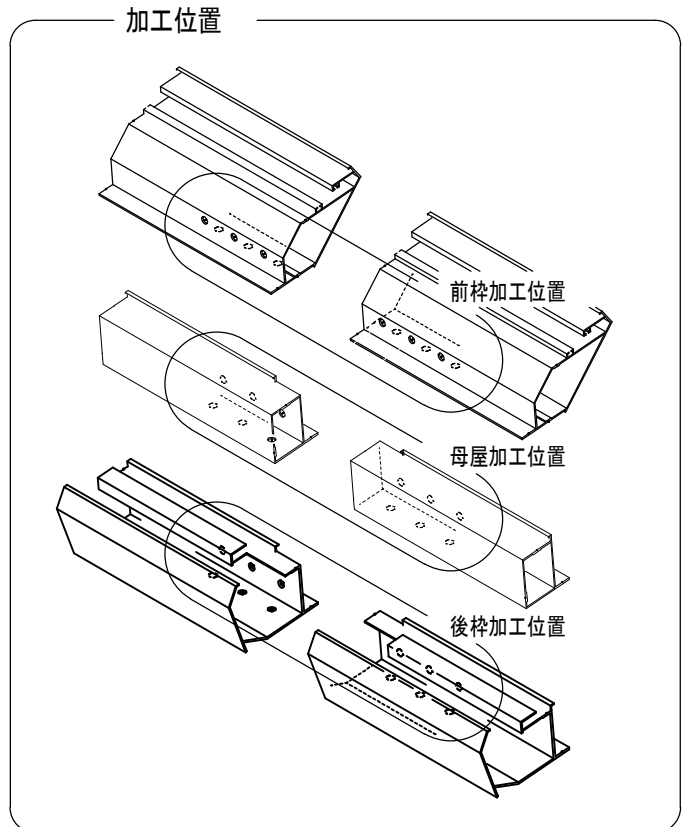
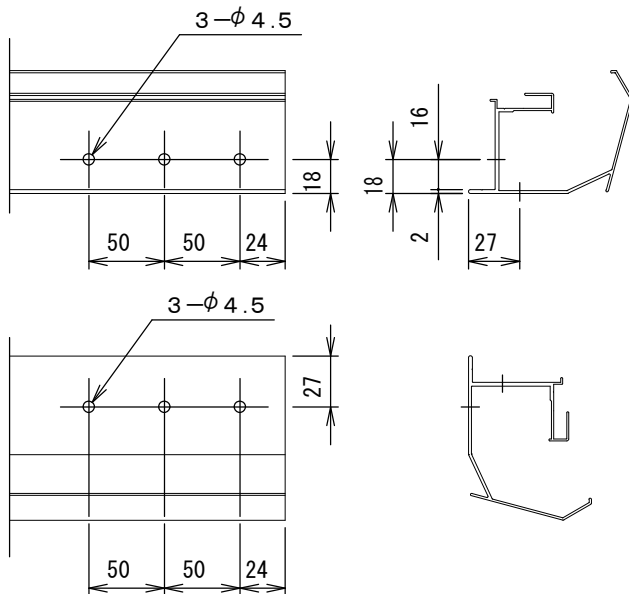
### ● 前枠の加工



### ● 母屋の加工



### ● 後枠の加工



## 2 柱基礎

- ① 製品基本図を参照して、柱の埋め込み位置を決めて下さい。
- ② 柱の埋め込みは、基本側の取付説明書をご覧ください。

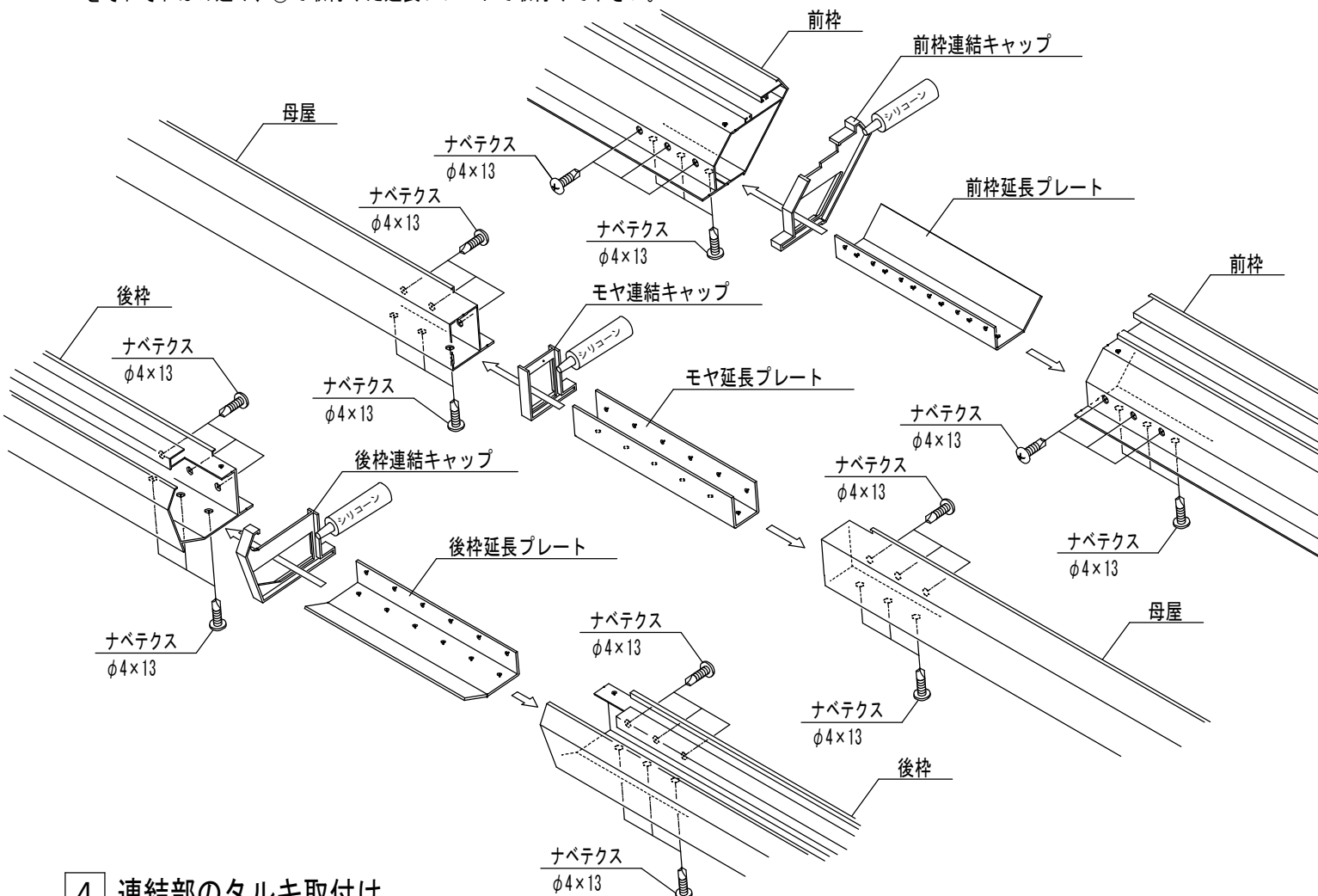
### 3 前枠・母屋・後枠の連結

①本体側の前枠・母屋・後枠に、各延長プレートをナベテクス（φ4×13）で取付けて下さい。

②各連結キャップにシリコンを塗布し、前枠・母屋・後枠にそれぞれはめ込んで下さい。

注）連結キャップを押えながらはめ込み、はみ出したシリコンは拭き取って下さい。

③本体側にはめ込んだ連結キャップにシリコンを塗布し、連棟側の前枠・母屋・後枠をそれぞれはめ込み、①で取付けた延長プレートで取付けて下さい。



### 4 連結部のタルキ取付け

連結部に連棟タルキをナベテクス（φ4×16）

で取付けて下さい。

